

() 内の数字は指摘を受けた医療機関件数、▲は自主返還の対象となった指摘を示している。

I. 診療内容に係る事項

1. 診療録等

診療録は、保険請求の根拠となるものなので、医師は診療の都度、遅滞なく必要事項の記載を十分に行うこと。特に、症状、所見(検査結果も含む)、治療計画、処置、手術等について記載内容の充実を図ること。

(1) 診療録への必要事項の記載について、次の不適切な例が認められたので改めること。

- ① 診療録について、医師による日々の診療内容(電話等による再診、特に検査の必要性、療養上の指導管理等、往診時における患者の状態)の記載が乏しい。(8)
② 症状、所見(検査結果も含む)についての記載がない。
③ 訪問診療時における診療内容の記載が乏しい。
④ 傷病手当金に係る意見書を交付した場合であるにもかかわらず、労務不能に関する意見欄への記載がない。(2)
(2) 紙媒体の記録について、次の不適切な例が認められたので改めること。
① 記載内容が判読できない。(3)
② 欄外に記載している。
③ 複数の保険医が一人の患者の診療に当たっている場合において、署名又は記名押印が診療の都度なされていないため、診療の責任の所在が明らかでない。

2. 傷病名

傷病名は診療録への必要記載事項であるので、正確に記載すること。

- (1) 傷病名の転帰の記載がない。(3)
(2) 傷病名の転帰の記載が誤っている。
① 疑い病名の転帰について、正しくは「中止」とすべきものを誤って「治療」としている。(2)
(3) 傷病名の記載又は入力について、次の不適切な例が認められたので改めること。
① 傷病名の転帰の記載がない。(2)
ア 女性不妊症、イ 皮膚悪性腫瘍
① 傷病名の記載が漏れている。(12)
腎機能障害の疑い、糖尿病の疑い、慢性胃炎、難治性逆流性食道炎、僧帽弁閉鎖不全症、胃癌術後、胆道悪性腫瘍、頸部リンパ節腫大、左大腿骨悪性リンパ腫、卵巣癌の疑い、卵巣腫瘍、排卵障害、視床下部一下垂体機能障害、多嚢胞性卵巣症候群、認知症、神経痛、腰痛性増悪、下肢痛増悪、両側膝関節打撲、頸椎捻挫後遺症、右足底部鶏眼、アレルギー性結膜炎
② 継続して治療中の疾患であるにも

2021年度 個別指導指摘事項 ① 医科

2021(令和3)年度の個別指導指摘事項(医科)は、長野県保険医協会が個別指導関係行政文書の開示請求で得た関東信越厚生局長野事務所分の各医療機関に対する指導結果通知の内容を項目ごとに整理したもの。指導内容については医療機関の診療傾向や患者の状態等、結果通知のみからでは判断できない様々な要因があって指摘される場合が多い。特に検査・投薬・注射等は指摘事項文章のみを取り上げて一律に医学的な是非を問うことはできない。その点に留意の上、参考資料としていただきたい。

- かかわらず、傷病名の診療開始日をより新しい日付に変更している。
喀痰咯出困難
(4) 傷病名の内容について、次の不適切な例が認められたので改めること。
① 実際には確定傷病名であるにもかかわらず、「疑い」の傷病名として記載しているもの。
前立腺癌の疑い、心不全の疑い
② 次の記載がない傷病名
ア 急性・慢性…副鼻腔炎、気管支炎
イ 左右の別…肩関節周囲炎(2)、変形性肩関節症、変形性関節症(3)、変形性膝関節症(3)、膝関節痛、足底筋膜炎、足関節炎、肩関節脱臼骨折の疑い、上腕骨骨折、大腿打撲傷、大腿骨骨折の疑い、大腿骨骨折、大腿骨骨幹部骨折、手足湿疹、足底胼胝、足底皮膚潰瘍、足蜂窩織炎、足凍瘡、足底角化症、足白癬症、気胸、耳下腺腫瘍
ウ 部位…湿疹(7)、急性湿疹、膿痂疹性湿疹、疣贅、褥瘡(3)、褥瘡感染、重度褥瘡感染、皮膚感染症、皮膚炎、皮膚膿瘍、皮膚真菌症、浮腫、带状疱疹、爪白癬、爪変形、陥入爪、創傷、疼痛、筋肉痛、関節炎、筋炎の疑い、変形性関節症(3)、創傷感染症、打撲傷
エ 詳細な傷病名…神経痛、皮膚炎、創傷
③ 単なる状態や傷病名ではない事項を傷病名欄に記載している。
発熱(2)、頭痛(2)、咳、疼痛、喀痰、喀痰咯出困難、深部静脈血栓症の再発抑制、長期経口食事摂取困難な場合の経管栄養補給、入院性フレイル
④ 医学的な診断根拠がない傷病名
糖尿病、腸内細菌叢異常、慢性胃炎、慢性胃炎の急性増悪(慢性胃炎の診療を行っていない患者に対して付したもの)
⑤ 検査所見を傷病名としている。
「子宮頸部細胞診・意義不明な異型扁平上皮細胞」
⑥ 医学的に妥当とは考えられない傷病名
術後腹部大動脈瘤
(5) 傷病名を適切に整理していない例が認められたので改めること。

- ① 長期にわたる「疑い」の傷病名
コロナウイルス感染症の疑い、2型糖尿病の疑い、糖尿病の疑い、うっ血性心不全の疑い、狭心症の疑い、肝癌の疑い、B型肝炎の疑い、C型肝炎の疑い、肝硬変の疑い、甲状腺機能低下症の疑い、副腎皮質機能低下症の疑い、偽痛風の疑い、イレウスの疑い、血液凝固異常の疑い、前立腺癌の疑い、認知症の疑い、鉄欠乏性貧血の疑い、亜鉛欠乏症の疑い、爪白癬の疑い、関節リウマチの疑い
② 重複して付与している、又は類似の傷病名
ア 「糖尿病」と「2型糖尿病」(2)
イ 「褥瘡」と「重症褥瘡」
ウ 「骨折の危険性の高い骨粗鬆症」と「骨粗鬆症」
(6) 検査、投薬等の査定を防ぐ目的で付けられた医学的な診断根拠のない傷病名(いわゆるレセプト病名)が認められた。レセプト病名を付けて保険請求することは、不適切なので改めるこ

と。診療報酬明細書の請求内容を説明する上で傷病名のみでは不十分と考えられる場合には、摘要欄に記載するか、別に症状詳記(病状説明)を作成し診療報酬明細書に添付すること。
ア 胃炎、イ 糖尿病の疑い(2)、ウ 高脂血症の疑い、エ 高尿酸血症の疑い、オ 心不全の疑い、カ 腎機能低下症の疑い(2)、キ 肝機能障害の疑い(2)、ク 甲状腺機能低下症の疑い(2)、ケ 鉄欠乏性貧血の疑い、コ 亜鉛欠乏症の疑い、サ 薬剤性腎障害の疑い、シ 薬物性肝障害の疑い、ス 汎血球減少症の疑い、セ 「エストラジオール(E2)」の実施に際して付与した「卵巣機能不全の疑い」
ソ 「デヒドロエピアンドロステロン硫酸抱合体(DHEA-S)」の実施に際して付与した「クッシング病の疑い」
タ 「アンモニア」の実施に際して付与した「肝性脳症の疑い」
チ 「網赤血球数(レチクロ)」 「不飽和鉄結合能(UIBC)(比色法)」の実施に際して付与した「鉄欠乏性貧血の疑い」
ツ 「葉酸」の実施に際して付与した「巨赤芽球性貧血の疑い」
3. 基本診療料
(1) 初・再診料について、次の不適切な例が認められたので改めること。
① 外来管理加算について、患者からの聴取事項や診察所見の要点について診療録への記載が不十分である。
次回は 4. 医学管理から掲載

医科 書籍案内
在宅医療点数の手引(2022年度改定版)
B5版/689頁 会員価格3,500円 定価5,000円(税・送料込)
在宅医療点数から介護保険との給付調整まで、オリジナルの図表やフローチャートを用いてわかりやすく解説。具体的なレセプト事例の掲載も充実しています。(2022.9月発刊)
※医科開業医会員はご注文により1冊目無料で配布しています。まだご注文されていない希望者は☎にてご注文ください。

1 医療機関 50冊まで無料注文を受付中!
2022年 最新版 医療・介護・税金の負担軽減策 パンフレット
負担増の嵐の中で「負担が軽減される制度」が埋もれてしまっています。このパンフレットは患者さんや県民の医療・介護・税金の負担を少しでも軽減できるよう、今ある制度を100%活用するために一般向けに編集された一冊です。(全27ページ)
50冊まで無料配布しています。患者さんへの配布やスタッフの知識向上にお役立て下さい。
掲載内容
障害者控除、寡婦・寡夫控除、医療費控除、高額療養費制度、難病・小児慢性特定疾患、国保の保険料・一部負担金減免、介護保険、障害者認定申請、生活保護ほか
ご注文はお電話でも。 ☎ 026-226-0086